



いつまでも心の中に残る 学校の思い出

〜釜ヶ台小中学校閉校記念式典・思い出を語る会〜



校旗の返納

今年度で閉校となる釜ヶ台小中学校（板垣直俊校長、小学校児童12名、中学校生徒6名）で11月15日、「釜ヶ台小中学校閉校記念式典・思い出を語る会」が開催され、来賓、関係者などが約300名が出席しました。

小学校は、明治15年創立の日振小学校巡回授業所、中学校は昭和22年設置の院内中学校釜ヶ台分校を始めとし、改編・改称などを経て、現在まで3、200名を超える卒業生を輩出しています。平成22年4月1日からは、小学校は院内小学校と、中学校は仁賀保中学校と、それぞれ統合されることになりました。

鳥海山麓の美しい自然に囲まれた校舎で、釜ヶ台各集落住民との強い結びつきにより実践されてきた学校教育。学校の歴史にはピリオドが打たれることになりましたが、学校の思い出はみんなの心に残り続けます。



釜ヶ台中3年
齋藤有貴さん

鳥海山の頂きも雪化粧し、釜ヶ台にも冬の訪れが近づきつつあります。この校舎で冬を迎えるのも最後になりました。

小学校入学以来、9年間、私は、この学校でたくさんの人と出会い、さまざまなことを吸収し成長してきました。

先生方との出会いも大切な思い出のひとつです。人数が少ないこともあって、先生方は皆、一人一人、分かるまで丁寧に教えてくださいました。給食時間には楽しく語り、清掃や部活動、さまざまな行事では、ともに汗を流してくださいました。

これほどまでに、先生と生徒が親しくなれる学校はほかにはないのでないかと思えます。

児童と生徒の触れ合いも多く、小学生の時には中学生のリードを頼もしく感じ、中学生になった今、責任の重さを強く感じています。この大好きな学校での生活を、どうすればもっと楽しく、過ごしやすくできるか、ともに考えてきました。運動会の応援や鍋つこの時など、中学生

を中心に、小学生と共に力を合わせて団結してきました。これも小・中が一緒の、この学校ならではの良さだったと思います。

忘れてはならないのが、先輩や地域の方々の支えです。スポーツや部活動には、たびたび練習を見に来てアドバイスをいただきました。登下校時には温かな言葉をかけていただいたり、田植え・稲刈り・縄跳びなどの行事では、たくさんの方々の指導に教えていただきました。釜ヶ台に住むすべての方々に守られて、私たちは育っているのだなあと、とても感謝しています。

現在のこの生活も、間もなく終わります。来年の春から、小学生は院内小学校に、中学生は仁賀保中学校に通うことになりました。新しい学校で、たくさんの友だちをつくれることは嬉しいことですが、釜ヶ台を離れて勉強するのだと思うと、寂しさで胸がいっぱいになります。

しかし、釜ヶ台小中学校での生活は、私たちの心の中にずっと生き続けていくと思います。この学校で学んだことを忘れずに、新たな世界に旅立って行きたいと思っています。その姿を、きっと鳥海山も見守っていてくれることでしょう。

児童生徒代表お別れのことばから



学校のあゆみを創作劇に



記念碑の除幕

記念式典から



涙する出席者も



感謝の気持ちを込めて合唱

学校の沿革（概略のみ）

- 明治15 日振小学校（現小出小）巡回授業所として創立
- 明治35 釜ヶ台尋常小学校と改称
- 昭和22 院内中学校釜ヶ台分校設置
- 昭和25 小中併設校として校舎新築
- 昭和28 釜ヶ台小学校、同中学校として分校から独立校となる
- 昭和52 現校舎新築

校歌（昭和39年制定）

- 一 あがるひばりの空高く
姿雄々しい鳥海を
心にしるしむつまじく
育つ我らのすこやかさ
- 二 しみずの森の朝風に
いずみはふるくとこしえに
わいて希望も新しく
歌うわれらのうれしさよ
- 三 もみじに映えてひらだしの
つきぬ流れも清らかに
正しく強く肩くんで
学ぶ我らのたのしさよ

旧校舎（昭和25年築）



運動会（昭和40年ころ）



現校舎（昭和52年築）



釜ヶ台小中学校 現在と昔

地域合同運動会（平成21年）

